

専門学校 久留米自動車工科大学校 自己点検評価

(令和 6 年度評価)

教育理念・教育目標・育成人材像等

1 学校の教育目標

- ① 自動車整備士として専門的知識と技能を有する人材を育成すること。
- ② 社会人として、社会性を備えた人材を育成すること。
- ③ 社会貢献できる自動車整備士を育成すること。

以上、「人間味豊かな産業人の育成」が本校の役割であり目標である。

2 令和 6 年度の取り組み

当校は「教育の質」向上のため、令和 6 年度は以下の項目に取組み、教育運営を行った。

教育 関係	新技術の取得等のため、『SUBARU 技術講習会』や『中堅教員研修』に教員 5 名が参加した。
	学生との関わり方や表現力の向上のため、『コミュニケーションスキルアップ講座』を教員全員が受講した。
	企業との連携や新技術の取得を図るため、企業研究授業や企業による連携授業の回数を増やした。
	好評である実習授業参観を 1 年生から車体 2 年生と一級 3 年生にも継続実施した。
	授業の理解が不十分な生徒の支援や個人の技能を高めるために新規にフリースタイルラーニングを開始した。
	学生の資格取得を支援するため、JAF と連携した『巻き上げ機講習』を新たに実施した。
	授業における連携強化を図るため、福岡県内の自動車販売会社採用担当者との会議を実施した。
	きめ細かい講義・実修指導や丁寧な就職活動支援により、14 年連続で就職率 100%を達成した。
	教育環境の整備のために、3 号館・4 号館の空調機増設工事を実施した。
学生 募集	WEB 広告を始め情報媒体を中心とした広報施策を実施した。
	少人数、リクエスト型のオープンキャンパスを継続した。
	学生が出願しやすい環境にするため、新規に 9 月から WEB 出願を始めた。
	オープンキャンパス参加者に御礼状を送付するなど、フォローアップに努めた。
地 域 貢 献	高校生ものづくりコンテスト福岡県大会(自動車整備部門)の会場校として本校教員が審査業務を担い、地域の人材育成に貢献するとともに、来場者に対し本校の PR を行った。
	本校周辺の清掃活動の実施等ボランティア活動を継続実施した。

3 評価項目の達成および取組状況

(1)教育理念・目標

評価項目		適切…4、 ほぼ適切…3、 やや不適切…2、 不適切…1			
①	教育理念・目標を具体的に定めているか (3つのポリシーが反映されているか)	④	3	2	1
②	教育理念・目標は各媒体に明示されているか	④	3	2	1
③	教育理念・目標に基づき、適切な授業計画を作成し、同じ方向性を持って 授業遂行できているか	④	3	2	1
④	学校を取り巻く社会環境変化に対応し、必要に応じて教育手法や授業計 画を柔軟に見直しているか	④	3	2	1

■課題・各種対応

変更した教育課程の着実な実施と共に、今後の自動車整備士資格制度の変更等に対応した教育課程の編成の見直し等も継続して検討していく。

(2)事業計画に沿った学校運営

評価項目		適切…4、 ほぼ適切…3、 やや不適切…2、 不適切…1			
①	単年度事業計画と予算は、法人の正当な手続きに基づき作成・決定され ているか。	④	3	2	1
②	毎年の個別事業の実施成果を評価すると共に、評価に対応した改善計 画を作成しているか	④	3	2	1
③	事業計画及び事業報告書並びに予算・決算等を情報公開しているか	④	3	2	1

■課題・各種対応

特になし

(3)教育理念・目標に基づいた学校全体の教育活動・個別の教育活動

評価項目		適切…4、 ほぼ適切…3、 やや不適切…2、 不適切…1			
①	学生受入れの方針の設定、適切な受入数の確保ができているか	4	③	2	1
②	教育理念・目標に基づいた教育を展開するためのカリキュラムポリシー の設定が成されているか	④	3	2	1
③	カリキュラムポリシーは教員に共有化されているか	④	3	2	1
④	シラバス(授業プラン) は教育理念を反映されたものであるか	④	3	2	1
⑤	シラバスの内容は教員に共有化されているか	④	3	2	1

⑥	職業教育としての専門性確保のため、産業界のニーズを反映したカリキュラムとなっているか	④	3	2	1
⑦	個々の授業に対する学生の満足度を高めるために、授業内容及び授業方法の改善に取り組んでいるか	④	3	2	1

■課題・各種対応

特になし

(4) 学習成果の実現向上

評価項目		適切…4、 ほぼ適切…3、 やや不適切…2、 不適切…1			
①	履修認定基準は公正であるか	④	3	2	1
②	各学科卒業生及び修了生の資格試験の合格状況は目標に達しているか	4	③	2	1
③	各学科卒業生の就職状況は目標に達しているか	④	3	2	1
④	履修状況(出席状況・期末試験の結果)に応じた学修支援は十分か	④	3	2	1
⑤	各学科の進級状況は適切か	④	3	2	1
⑥	退学者数は減少しているか、また退学に至るまでの対応は適切であるか	4	③	2	1
⑦	資格試験合格のための対策授業を実施しているか、それは適切か	④	3	2	1

■課題・各種対応

項目⑥について: 退学防止のための方策(クラス担任制、校外指導、保護者との連携等)に取り組んだものの、結果は昨年比5名の増加となった。退学理由は成績不振が8名(前年6名)、進路変更が4名(前年3名)で合計12名(前年9名)、全体の70.6%(前年75%)と依然高い割合となっており、学生が学修に向かうためのモチベーションの維持・向上が課題となっている。

(5) 学生の教育及び生活における課題解決に対する支援

評価項目		適切…4、 ほぼ適切…3、 やや不適切…2、 不適切…1			
①	学生の教育課題や生活課題を把握し、課題への対応を検討・実施しているか	④	3	2	1
②	学生のメンタルヘルス面での課題を早期に発見し、専門的な個別指導を促すことを実行できているか	④	3	2	1
③	就学の経済問題の相談に対し、国・県の支援制度を活用しているか	④	3	2	1
④	就学の経済問題の相談に対し、校納金の延納、分納、奨学金制度の情報提供を行っているか	④	3	2	1

■課題・各種対応

特になし

(6) 教育環境

評価項目		適切…4、 ほぼ適切…3、 やや不適切…2、 不適切…1			
①	自動車の整備技術の進化に対応し、実習教材を整備・充実させているか	④	3	2	1
②	学生の在籍状況に応じた学習施設の維持・補修を行い、必要に応じて教育機能の充実を図っているか	4	③	2	1
③	学生の福利厚生施設の検討を行い、必要に応じて整備できているか	4	③	2	1

■課題・各種対応

項目①について:現在では現有の実習車両で問題はないが、令和 9 年度には教科書が改訂されるため、その教科書に整合する環境を整える必要がある。

項目②について: LED 化や学習施設更新の対応が遅れており、教室の稼働率等を踏まえた計画的な整備が必要である。

項目③について: 後援会費の活用等により、ラウンジ機能の整備を行う必要がある。

(7) 学生募集の充実とマネジメント

評価項目		適切…4、 ほぼ適切…3、 やや不適切…2、 不適切…1			
①	学生募集を強化し、全学科合わせて目標の入学生を確保できているか	4	③	2	1
②	入学生確保のための OC 開催、WEB 広告充実など多様な学生募集を展開しているか	④	3	2	1
③	入学生確保による収入の増加と経常的支出を計画的に削減することで収支安定を図っているか	4	③	2	1
④	持続可能な財務基盤は確立されているか	4	③	2	1
⑤	教職員の資質・能力向上に向けた研修を実施したか	④	3	2	1

■課題・各種対応

項目③、④について: 令和 6 年度末をもって学生寮を廃止するなど効率化を図った。今後、18 歳人口の減少を踏まえて、歳入・歳出の縮小均衡を図り、長期にわたって安定した経営の維持・継続が可能となるように、適切な定員規模や学科の内容等を見直していく必要がある。

(8) ガバナンスとコンプライアンスの確保

評価項目		適切…4、 ほぼ適切…3、 やや不適切…2、 不適切…1			
①	学校の組織的運営のため、職員会議をはじめとする各種会議の適正な開催と組織的な統制は確保されているか	④	3	2	1
②	法人理事会・評議委員会の意思決定及び法人監査による監査指摘への対応に基づく円滑な学校運営はなされているか	④	3	2	1

■課題・各種対応

特になし